

that's
GOOD
science!

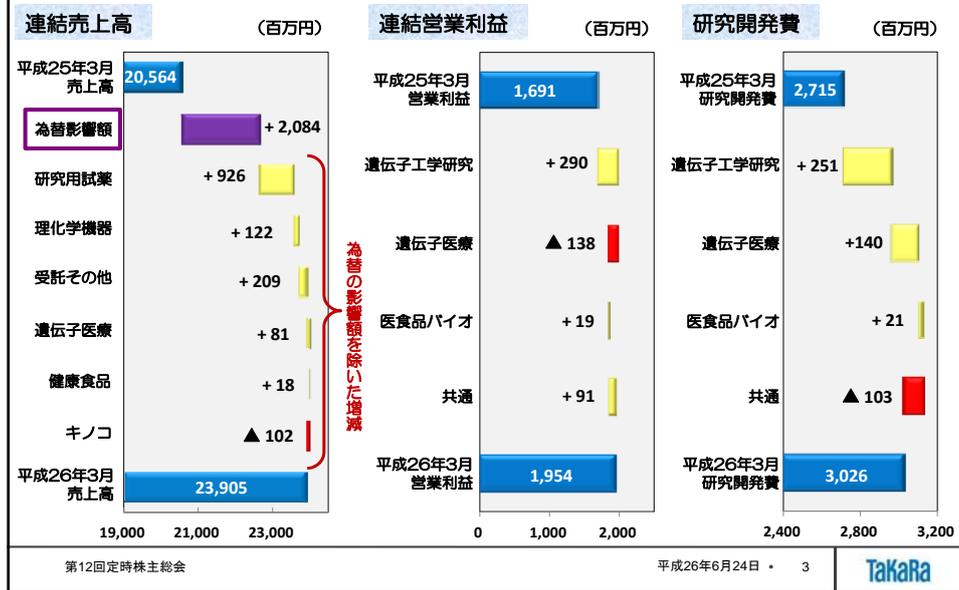
- ・第12期（平成26年3月期）業績
- ・中期経営計画（平成29年3月期まで）

連結業績

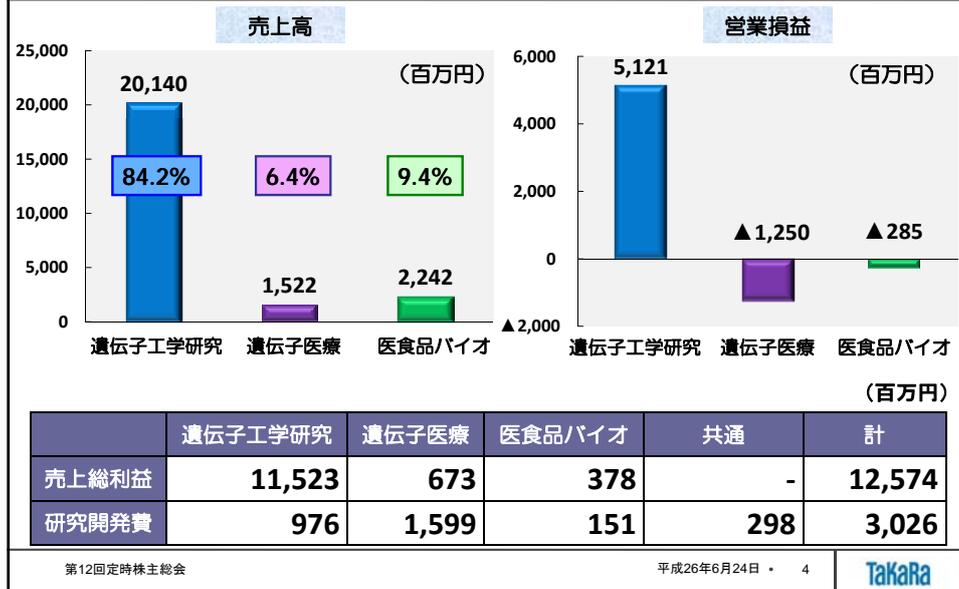
（百万円）

	平成26年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	23,905	+3,341	+16.2%
売上原価	11,331	+1,791	+18.8%
売上総利益	12,574	+1,549	+14.1%
販売費及び 一般管理費	10,619	+1,287	+13.8%
営業利益	1,954	+262	+15.5%
経常利益	2,240	+275	+14.0%
当期純利益	1,470	+7	+0.5%

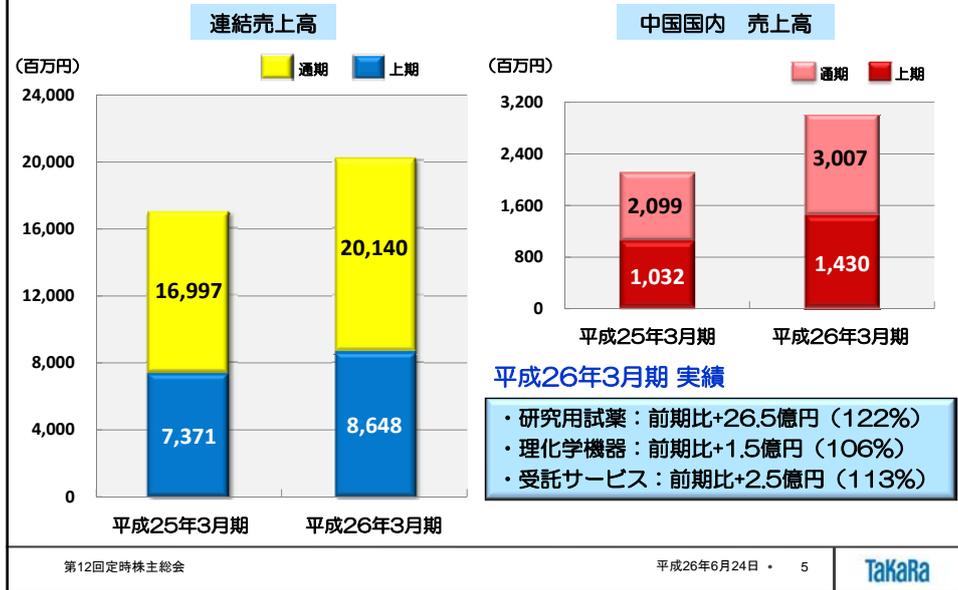
売上高・営業利益・研究開発費（連結） ＜前期比増減＞



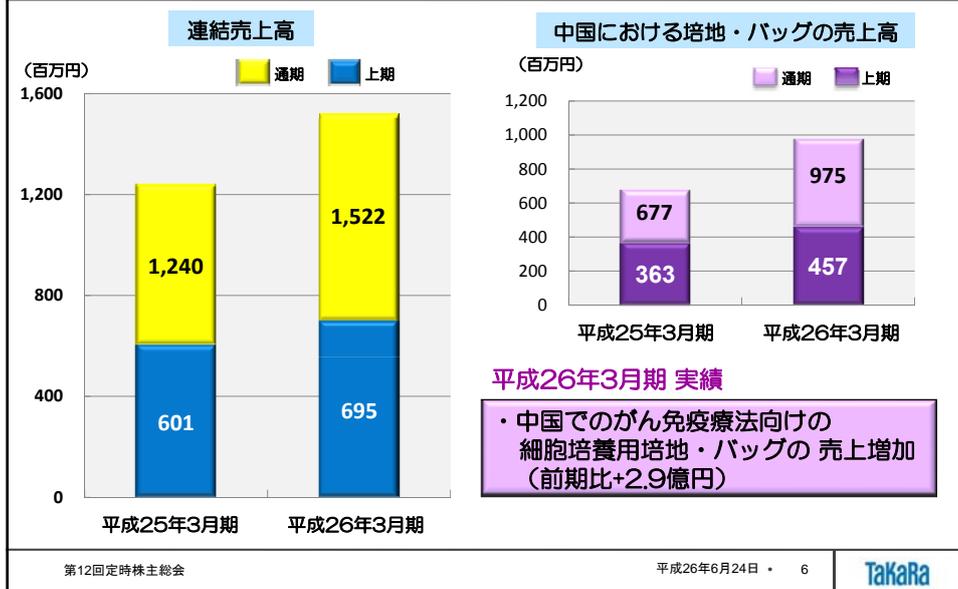
セグメント情報（連結）



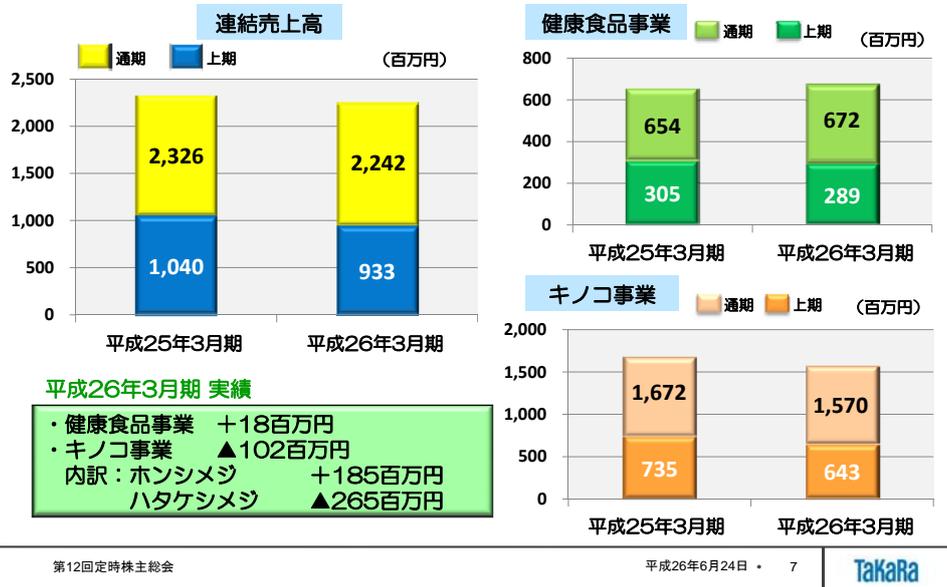
セグメント別売上高（連結） 遺伝子工学研究事業（1）



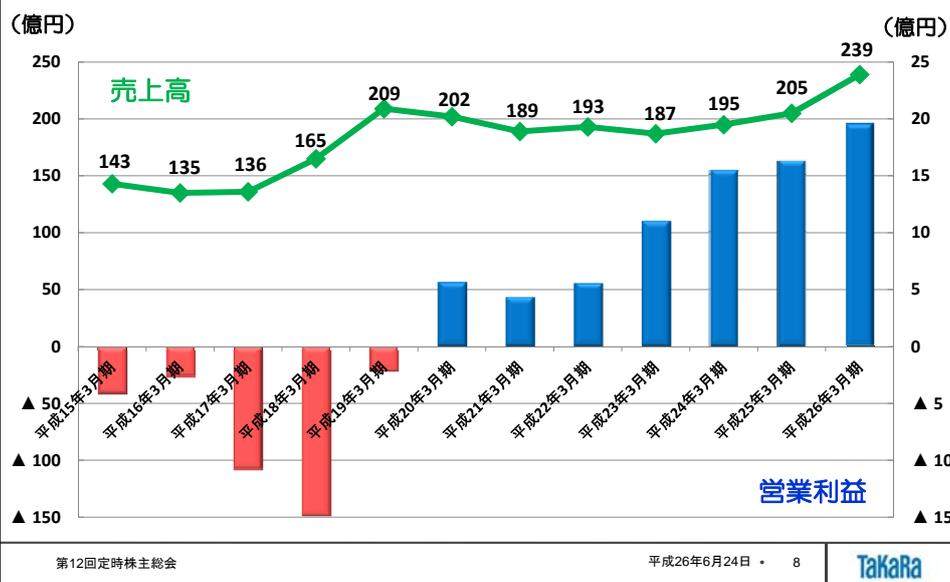
セグメント別売上高（連結） 遺伝子医療事業



セグメント別売上高（連結） 医食品バイオ事業



売上高・営業利益（連結）の推移



単体業績

(百万円)

	平成26年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	15,611	+704	+4.7%
売上原価	9,253	+552	+6.4%
売上総利益	6,357	+151	+2.4%
販売費及び 一般管理費	6,165	+184	+3.1%
営業利益	191	▲33	▲14.7%
経常利益	1,592	+147	+10.2%
当期純利益	1,316	▲106	▲7.5%

第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 9

TaKaRa

中期経営計画

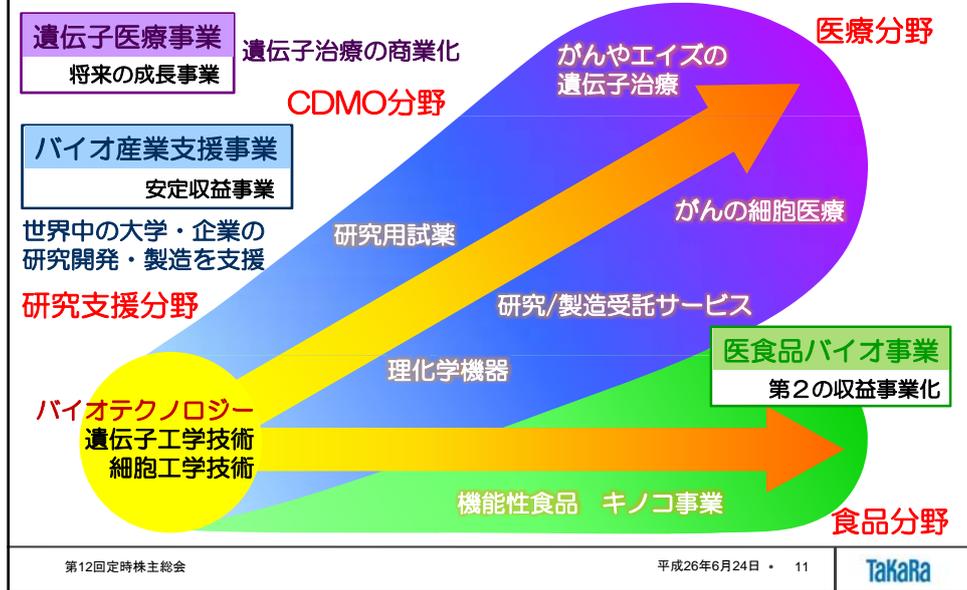
- ・ 事業セグメントの変更
- ・ 平成29年3月期までの業績目標
- ・ 各事業における施策

第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 10

TaKaRa

タカラバイオ事業領域



第12回定時株主総会

平成26年6月24日・11

TaKaRa

事業セグメントの変更

旧セグメント (～平成26年3月末)		新セグメント (平成26年4月～)	
セグメント名称	事業内容	セグメント名称	事業内容
遺伝子工学研究事業	<ul style="list-style-type: none"> 研究用試薬 理化学機器 受託サービス 	バイオ産業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 研究用試薬 ✓細胞培養用培地・バッグ 理化学機器 受託サービス ✓クリニック支援サービス ✓GMP製造受託
遺伝子医療事業	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子治療の臨床開発 クリニック支援サービス GMP製造受託 細胞培養用培地・バッグ 		遺伝子医療事業
医食品バイオ事業	<ul style="list-style-type: none"> 健康食品 キノコ 	医食品バイオ事業	<ul style="list-style-type: none"> 健康食品 キノコ

第12回定時株主総会

平成26年6月24日・12

TaKaRa

タカラバイオグループ連結業績目標

(百万円)

	平成27年3月期予算	平成28年3月期計画	平成29年3月期計画
売上高	25,200	26,500	28,000
営業利益	2,000	2,100	2,250
経常利益	2,250	2,300	2,400
当期純利益	1,480	1,500	1,550

研究開発費	3,646	4,084	4,635
-------	-------	-------	-------

セグメント別営業利益

	平成27年3月期予算	平成28年3月期計画	平成29年3月期計画
バイオ産業支援	5,140	5,475	6,010
遺伝子医療	▲1,434	▲1,724	▲2,124
医食品バイオ	▲168	10	100
共通	▲1,536	▲1,661	▲1,736

第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 13

TaKaRa

セグメント別 売上目標

(百万円)

	平成27年3月期 予算	平成28年3月期 計画	平成29年3月期 計画
研究用試薬	16,693	17,594	18,708
理化学機器	2,678	2,681	2,681
受託	3,017	3,229	3,459
その他の	363	358	352
バイオ産業支援	22,752	23,863	25,203
遺伝子医療	-	-	-
健康食品	730	789	890
キノコ	1,717	1,847	1,907
医食品バイオ	2,447	2,636	2,797
売上高 合計	25,200	26,500	28,000

第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 14

TaKaRa

医食品バイオ事業の施策（１）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益



1 利益重視、早期営業黒字化
(平成28年3月期)

2 機能性食品素材のエビデンス強化
(アグロ・メディカル的
アプローチ)

3 エビデンスデータのWeb公開や
情報冊子配布による啓発活動の
強化

機能性食品素材のエビデンス

- ・ガゴメ昆布「フコイダン」：免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用・育毛作用など
- ・ボタンボウフウ「イソサミジン」：血流改善作用、排尿改善作用
- ・明日葉「カルコン」：メタボリックシンドローム改善作用
- ・寒天「アガロオリゴ糖」：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
- ・クーガイモ「ヤムスゲニン」：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
- ・きのこ「テルペン」：抗腫瘍作用

医食品バイオ事業の施策（２）：キノコ事業

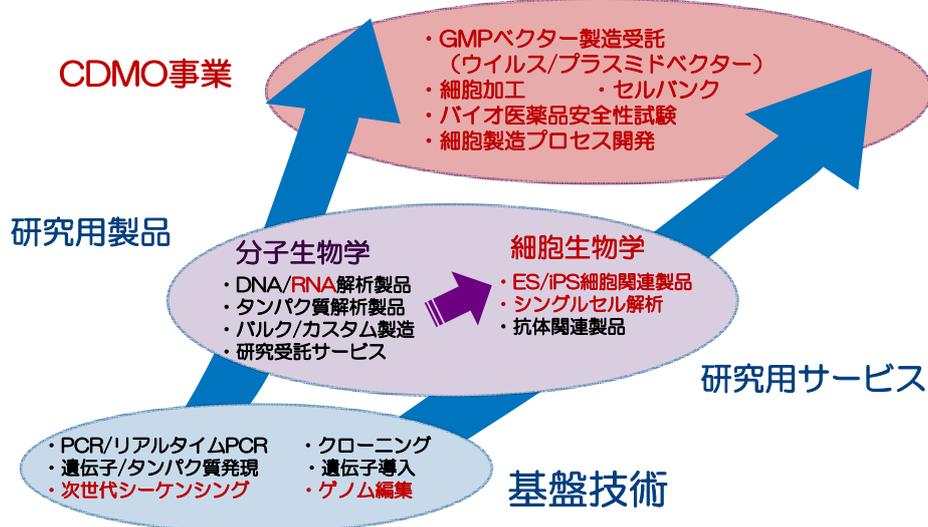
4 ハタケシメジからホンシメジへの生産シフト

- ・瑞穂農林株式会社でのホンシメジの増産による売上拡大
- ・ホンシメジの安定した生産体制の構築
- ・ホンシメジ増産に対応する販売ルートへの拡充
- ・キノコ栽培技術・ノウハウのライセンス事業の拡大



		平成26年3月期 実績	平成27年3月期 予算
ホンシメジ (タカラバイオ、 瑞穂農林株式会社)	売上高	515百万円	590百万円
	販売量	約290トン	約400トン
ハタケシメジ (瑞穂農林株式会社)	売上高	431百万円	511百万円
	販売量	約730トン	約680トン
フナシメジ (きのこセンター金武)	売上高	115百万円	142百万円
	販売量	約230トン	約270トン

バイオ産業支援事業の施策（１）： 基盤技術の強化による、CDMO事業の拡大



第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 17

TaKaRa

バイオ産業支援事業の施策（２）： 遺伝子・細胞プロセッシングセンターを新設

Center for Gene and Cell Processing

〈目的〉

- ・ 自社開発プロジェクト品の製造
- ・ CDMO受託事業
 - 細胞加工・調製
 - 品質試験
 - 無菌充填など
 - ベクター製造
 - セルバンク保管



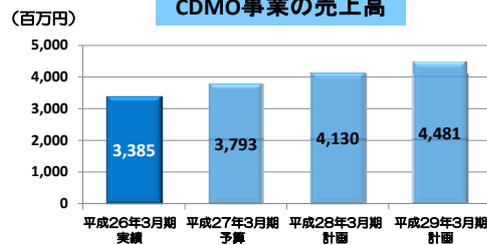
〈稼働スケジュール〉

施設完成：平成26年7月
本格稼働：平成26年10月

〈規模〉

- ・ 鉄筋3階建
- ・ 総延床面積：約6,800㎡

CDMO事業の売上高



第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 18

TaKaRa

バイオ産業支援事業の施策（3）：事業拡大の方向性

1 遺伝子工学から細胞工学へ

- 幹細胞研究、再生・細胞医療研究分野の新製品開発強化
- 細胞加工受託業の開始、GMPベクター製造受託

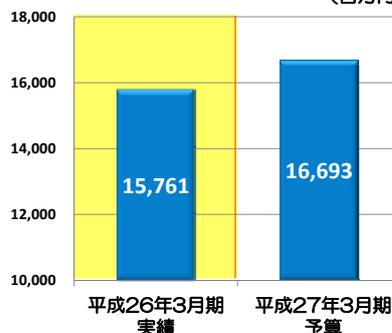
2 基礎研究支援から先端研究支援へ

- 次世代シーケンス関連試薬の開発
- ヒト全ゲノムシーケンス、miRNA解析、ゲノム編集、シングルセル解析などの受託サービスの拡大

3 研究支援から産業支援へ

- Applied Fieldにおけるカスタム製品の開発強化
 - ・食品製造管理用の微生物検出試薬
 - ・環境・分子診断等における製品の開発強化
- 中国、インド、韓国でのApplied Fieldの強化

研究用試薬の連結売上高 (百万円)



平成27年3月期 研究用試薬の連結売上高 前期比+9.3億円の内訳

日本：+3.0億円、中国：+4.3億円
欧州：+1.5億円、米国：+0.3億円

バイオ産業支援事業の施策（4）：日本

バイオ産業支援事業の日本国内売上高 (百万円)



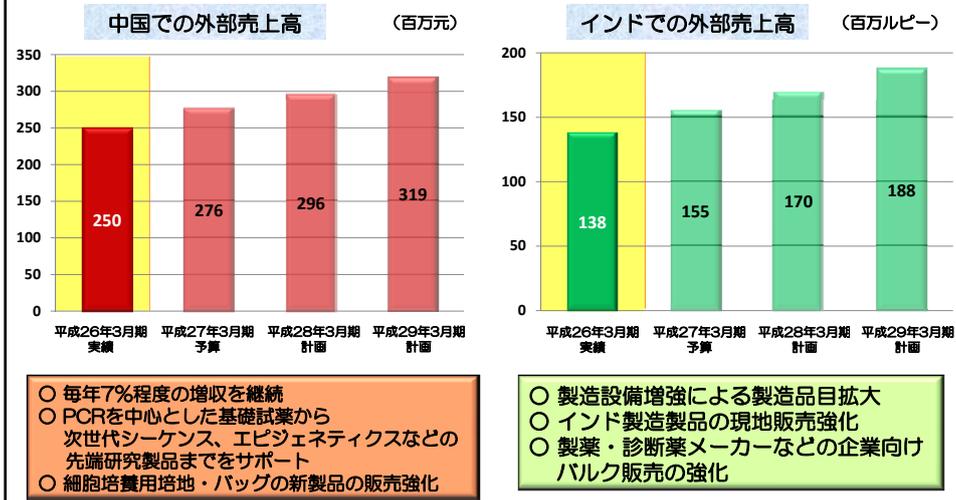
【組織変更】

- ・新製品・新サービスの研究開発強化
- ・新GMP施設を活用したサービスの拡大【注力製品・分野】
- ・リアルタイムPCR関連製品
- ・次世代シーケンス関連製品・受託サービス（細胞加工・ヒト全ゲノム）
- ・Applied Field
- ・OEM・他社からの導入商品の増強

- その他
- 受託
- 理化学機器
- 研究用試薬



バイオ産業支援事業の施策（５）：中国・インド

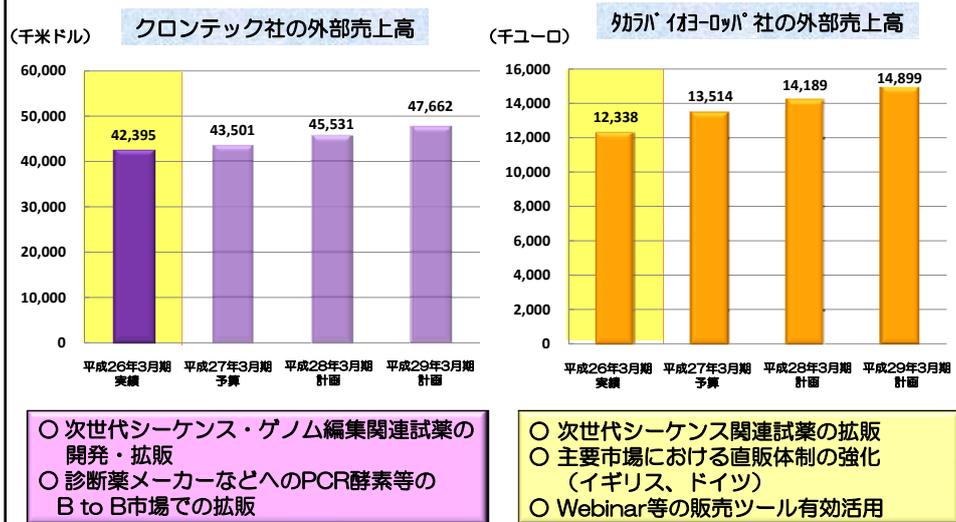


第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 21

Takara

バイオ産業支援事業の施策（６）：米国・欧州



第12回定時株主総会

平成26年6月24日 ・ 22

Takara

HF10プロジェクト

腫瘍溶解性ウイルスHF10

目標：平成30年度の商業化

○治験

①第Ⅰ相臨床試験（米国）

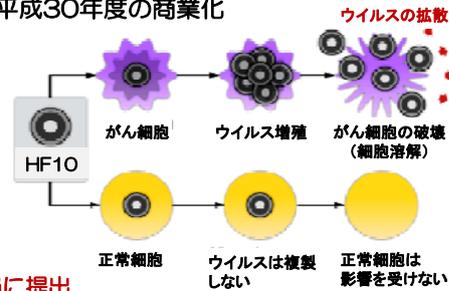
- ・対象疾患：固形がん
- ・被験者組入れが完了
- ・登録28例（評価対象22例）

②第Ⅱ相臨床試験（米国）

- ・臨床試験実施申請資料を米国食品医薬品局に提出
- ・対象疾患：悪性黒色腫
- ・症例数：43名
- ・平成28年度終了予定

③第Ⅰ相臨床試験（国内）

平成26年度臨床試験開始予定



腫瘍溶解性ウイルスによるがん治療

TCR遺伝子治療プロジェクト

MAGE-A4・TCR遺伝子治療

目標：平成33年度の商業化

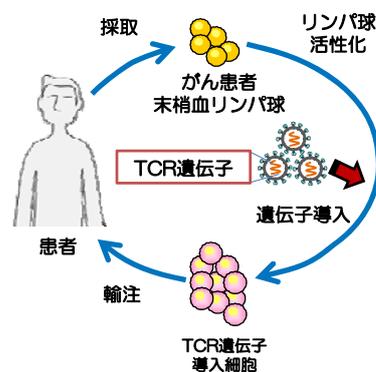
○治験（食道がん等の固形がん）

- ・三重大大学で第Ⅰ相臨床試験（医師主導治験）を開始
- ・症例数：12例
- ・平成27年度終了予定

NY-ESO-1・TCR遺伝子治療

○治験（固形がん）

- ・平成26年度治験開始目標
- ・対象疾患の絞り込みを行い、早期の承認取得を目指すためのプロトコール・治験計画を策定中



MazF遺伝子治療プロジェクト

MazF遺伝子治療

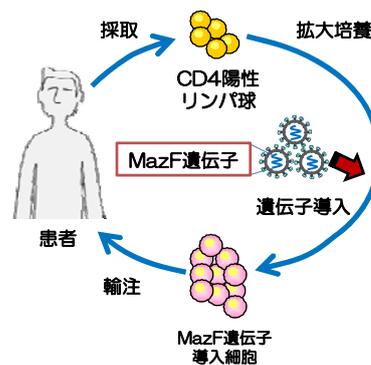
目標：平成34年度の商業化

○治験（HIV感染症）

- ・米国で第Ⅰ相臨床試験を実施中
- ・平成27年度に第Ⅰ相臨床試験を終了予定
- ・残り予定症例数：8例

【治験概要】

- ・第1コホート（目標症例数：6例）
多剤併用療法を受けているHIV感染患者
- ・第2コホート（目標症例数：6例）
3か月以上多剤併用療法を受けていないHIV感染患者



第12回定時株主総会

平成26年6月24日・25

TaKaRa

HSV-TK遺伝子治療プロジェクト

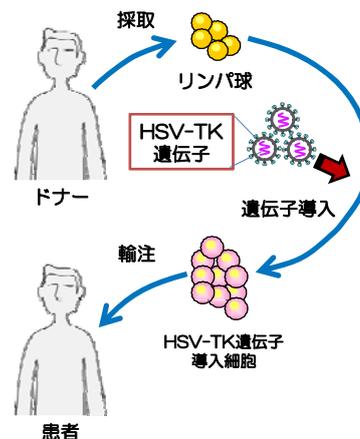
HSV-TK遺伝子治療

○日韓共同治験（造血器悪性腫瘍）

一時的にプロジェクトを凍結

背景：

- ・優先順位の高い臨床開発プロジェクトが新たな段階に進んだ
- ・日本におけるHLA不適合移植の状況が変化
- ・ライセンス元であるイタリアMoiMed社が欧州で条件付き製造販売承認を申請（MoiMed社が本年3月発表）



第12回定時株主総会

平成26年6月24日・26

TaKaRa

遺伝子医療事業の臨床開発スケジュール

	前臨床試験	第Ⅰ相臨床試験	第Ⅱ相臨床試験	第Ⅲ相臨床試験	商業化
腫瘍溶解性 ウイルスHF10	→			米国・第Ⅱ相臨床試験 (平成28年度終了予定)	平成30年度
	→	国内・第Ⅰ相臨床試験 (平成26年度開始予定)			
MAGE-A4・ TCR遺伝子治療	→			三重大学等・第Ⅰ相臨床試験 (医師主導治験) (平成27年度終了予定)	平成33年度
MazF 遺伝子治療	→			米国・第Ⅰ相臨床試験 (平成27年度終了予定)	平成34年度
NY-ESO-1・ TCR遺伝子治療	→			三重大学等・第Ⅰ相臨床試験 (平成26年度開始予定)	